

<「知るっば！久留米」 令和3年11月18日(木) 12:30~放送分>

田主丸地域の魅力 ～第3回～ 「田主丸の古墳と伝統行事」

<ゲスト：久留米市地域おこし協力隊 黒田 俊光さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、久留米市の東部に位置する『田主丸地域の魅力』をテーマにお送りしています。

ゲストはこの方です。

ゲスト:黒田さん(以下「黒田」)

こんにちは!久留米市地域おこし協力隊の黒田俊光です。

移住定住につながる田主丸の魅力発掘と情報発信をしています。よろしくお願いします。

坂本 第3回は、歴史にスポットを当て『田主丸の古墳と伝統行事』というテーマでお送りします。
まずは、古墳についてのお話をお願いします。

黒田 はい、耳納北麓の田主丸地域には、
今から1500年ほど前の6世紀後半から7世紀初頭に作られた15の古墳群があります。
既に壊されたものも含めると350基と大変多くの古墳が確認されています。
鷹取山登山口にある平原公園というのが有名なのですが、
その周辺には直径10m前後の古墳が70基も集まっています。
また、大きさなら公園として整備されている大塚古墳がダイナミックです!
6世紀後半に作られた全長103mの九州最大規模の前方後円墳で、
内部の石室はまだ調査されていないので、歴史のロマンも残されています。

坂本 タイムカプセルというようなことですね。
田主丸には大小たくさんの古墳があって、中には住宅地のすぐそばに古墳があったりしますよね?

黒田 そうなんです。
古墳があまりに多いので、善院地区には住宅地の中に古墳が点在しています。
普通の民家が並んでいる風景の中に、突然ドンと古墳が現れる田主丸ならではの風景ですね。
そこにある善院1号墳は、内部の石室も見学可能となっています。
そこから山の方に進むと善院公民館があって、その隣にある加藤神社があるんですが、
とっても変わった神社なんです。
なんと、剥き出しになった古墳の石室がご神体になっていて、
それを覆う形で社殿が建てられています。本当に変わっていますよね。

坂本 なかなか珍しいですね。
神社巡りも今はやっているの、そういった方にもお勧めですね。

黒田 そうですね。ほかにも、現在調査中の古墳もあります。
石垣地区の山王古墳群は去年(令和2年)から調査されていて、現在も新たに1基が調査中です。
去年調査した古墳は、入口の外側に突堤(とつてい)と呼ばれる石に囲まれた四角い広場のような小スペースが見つかっています。
今回調査中の古墳にも同じようなものがあるようです。
調査担当の職員・小川原さんによりますと、
「入り口の前に四角い広場のようなスペースがあるのは、筑後川両岸で見られる特徴」
なんだそうです。

坂本 田主丸の古墳を調べると、まだ知られていない歴史的な発見があるかもしれませんね。

黒田 実は私、特別に許可をいただいて、去年からずっと調査現場を見学しています。
それで昨日も見学に行ったのですが、今まで見えていなかった古墳を囲む葺石(ふきいし)という小さな石組が出てきたんですが、それが上から見ると四角形なんですよ。
それは結構珍しいんじゃないのかという話が出ていました。
そういった調査の様子は、私の Facebook にも載せています。
私の Facebook 以外にも、昨年(令和2年)の現地説明会の模様は、
久留米市文化財保護課が YouTube で公開しています。
久留米市の埋蔵文化財センターのホームページでは、YouTube はもちろん、
パンフレットをダウンロードできますし、最新情報も掲載されているのでぜひご覧ください。

坂本 歴史好きの黒田さんらしくて、思わず力が入りましたね。
Facebook や YouTube にたくさん情報があるようなので、皆さんぜひチェックしてください。
他にも田主丸地域には、神事や伝統行事も数多く残っているんですよ？

黒田 はい、そうなんです。久留米市文化財保護課がまとめた
「文化財保存活用地域計画・資料編の無形民俗一覧」という資料があるんですが、
その一覧に載っている伝統行事の半分くらいをなんと田主丸が占めています。
田主丸は面積にすると7km四方で、久留米市の面積に占める割合は約2割しかないんです。
その地域で市の半分以上の伝統行事が見つけれられているので、
とても多いということがわかると思います。

坂本 伝統行事の宝庫というわけですね。

黒田 私は去年夏頃から1年間、田主丸の中心部にある三夜様で有名な月読神社の林宮司が担当する
ご神事をほぼ全部見学してきました。

そのご神事は恵比寿様という商売繁盛のお祭りもあるんですけど、基本的に多いのは、やはり田主丸は農業が中心なので農業や五穀豊穡に関係するようなご神事ですね。さらに、そういったご神事が何かしら毎月行われているということも特徴的です。例えば、春には五穀豊穡のお祈りをしますし、梅雨時期には大雨や大風が来ないようにお祈りをします。秋になれば豊作になってどうもありがとうございましたと感謝のお祈りをし、冬にはしめ縄を作ってお正月を迎えるという形です。しかも、それを地元の人たちが世話をしていて、暮らしに直結している素敵なお神事だと思います。

坂本 農業と暮らしにドンピシャで寄り添って、神事が行われているんですね。

黒田 そうですね。よく農業体験とかあるじゃないですか。農業体験だけ見てもいいんですけど、ご神事の見学もできれば、より田主丸の暮らしがよくわかると思います。

坂本 自然とともに農業はあると思うので、自然と関係する神事もあるんでしょうか？

黒田 先ほど申し上げた梅雨時期に大雨大風を避けるご神事があるんですけども、これがとっても面白くて、境内にある大きな木に、人が登って長い竹の柱を一本立てるんです。その先に風旗(かざばた)という宮司さんが筆でしたためた白い布を付けるんです。だから、遠くから見てもその旗がはためいていて、「神様、大雨や大風は来させないでね」という祈りが目に見える形でとっても素敵です。田主丸でもごく一部の地域にしか残ってないんですけど、今でもそこに行っていいただければ1年中ご覧になれます。

坂本 自然と共に生きる人々ということで・・・本日もお時間になってしまいました。地域おこし協力隊の黒田さん。興味深いお話をありがとうございました。次回も引き続き『田主丸の伝統行事』をテーマにお聞きます。お楽しみに。